

18世紀。世界を変えた

きつかけは

マネーじゃなくて、

マネでした。

経済はどんなふう
動いてきたのか。

竹田先生、教えてください。



18世紀まで、アジアは織物業の先進地域でした。丁寧な手仕事でつくられたアジアの織物は軽く、肌触りも良く、美しかった。ヨーロッパの人々はその高い品質、ファッション性に惚れ込んだのです。しかし彼らはそれだけでは飽き足りませんでした。自らアジアの織物を作ろうとしたのです。彼らは生産体制を機械化することに成功。ヨーロッパ製の模倣品は大量生産され、世界中の人々のあいだに一段と広がっていきました。つまり、産業革命の出発点は「これが欲しい」という人間の欲望だったとも言えるのです。



このように1つのモノの生産・流通・消費の歴史を学んでいくと経済の原理や現在の社会の成り立ちが見えてくる。それは未来を生きるために重要な視点を養うことになると思います。

経済学科
竹田 泉



和光3分大学

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学